

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	田沢湖高原雪まつり開催費補助金				
担当課係名	観光課	観光施設係	作成者	高橋和宏	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	テンミリオン計画の推進・観光資源の掘り起こし			
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規/継続の区分		継続	
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	観光客並び市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	冬季観光の推進と地域の振興、活性化を図るため、イベントを通じてのイメージアップとスキー客、観光客の誘致と増客を目的とする。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	雪、温泉、スキー等の冬季観光資源を活用しながら冬季観光の推進と地域の振興、活性化を図る目的で実施。イベント内容：(雪像制作展示・市内小正月行事の実施・沿線、会場雪中灯籠の作成・スキーカーニバル等)

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	観光客数	人	27,000	20,000		
	成果指標	観光客数対前年比	%	112.5	74.1		
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費(人件費を除く)(A)			1,500	1,500		
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			1,500	1,500	
	人件費(B)			785	807		
	職員数			0.1	0.1		
	職員平均人件費			7,853	8,071		
(A)+(B)投下コスト			2,285	2,307			
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			85	115		
	市民1人当たりのコスト(円)			72	73		

【事務事業の今までの成果】

雪資源、温泉、スキー等の冬季観光資源と体験型のイベントを活用した観光性豊かなイベントとして定着している。冬季観光の推進と地域の振興、活性化を図るため、イベントを通じての雪国のイメージアップやスキー客、観光客の誘致、増客を狙いに実施してきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	秋田花まる観光振興プランやあきた21総合計画においても、小正月行事をはじめとした冬季観光の推進が取り上げられている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	観光地としての受け入れ態勢として、どこに行っても雪像があるとか、駅から会場までの沿線にミニかまくらや雪中灯籠などがあればいい。地域の盛り上がり期待。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
B	A 現状のまま継続(実施)	観光関係組織の関わりが薄い。冬季観光の推進という目的はあるものの、その地域でのイベントの必要性を考えてもらいたい。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

国、県も観光に関し様々な施策を打ち出している。中でも冬季観光の推進については、北国のマイナスイメージを払拭させるべく、雪資源を活用したイベント、行事等によるイメージアップが図られてきた。観光に関わる全ての人がこのイベントの必要性を考え、利用するイベントではなく、地域で盛り上げ、地域住民が訪れる観光客が楽しめる魅力あるイベントにしなければならない。市全体とはいかないまでも、意見にあるような沿線や家々の前にミニかまくらや雪中灯籠、雪像は魅力あるイベントとして参考になると思う。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B	観光の拠点でもある田沢湖高原で実施される事業であり、事業内容の見直しなどを進め、滞在型の観光客を増やしていくことは重要であり、地域の活性化に更に寄与できる事業となるよう努めていただきたい。

